

令和3年3月31日

大東市長 様

令和2年度提案公募型委託事業に関する報告書

団体名：平野屋新田会所市民サポーター会議

事業名：平野屋新田会所跡と深野池新田開発の歴史的魅力の発信

1. 実施内容
2. 事業の報告（イベント等の写真）

1. 実施内容

R2 7月18日	深北緑地レストハウスにて展示①開始
7月29日	平野屋新田会所紹介動画制作打ち合わせ（教育委員会生涯学習課とサポーター会議）
8月11日	四会所交流事業で「集印巡り宣伝チラシ」作成提案・検討
8月24日	樋門説明板設置検討部会
8月30日	深北緑地レストハウス展示②展示替え
9月2日	大阪産業大学松本裕先生研究室訪問・説明板、リーフレット、案内マップ改定版作成の依頼
9月19日	樋門説明板設置箇所の現地確認作業
9月30日	動画1のシナリオ検討会議 大阪産業大学松本裕先生研究室訪問・説明板、リーフレット、案内マップ改定版作成の相談・デザイン検討
10月17日	動画1のシナリオ確認とナレーションの録音作業
10月28日	大阪産業大学松本裕先生研究室訪問・説明板、リーフレット、案内マップ改定版作成のデザイン検討
11月4日	深北緑地レストハウス展示③展示替え
11月11日	大阪産業大学松本裕先生研究室訪問・説明板、リーフレット、案内マップ改定版作成の打ち合わせ
11月15日	「大坂四会所巡り・大東市の見どころ」チラシ配布準備
12月5日	西部図書館展示相談（西部図書館にて）
12月6日	動画1市のユーチューブチャンネルで発信 ホームページ開始
12月7日	動画2平野屋区長さん取材・撮影
12月9日	大阪産業大学松本裕先生研究室訪問・説明板、リーフレット、案内マップ改定版作成
12月25日	「案内マップ改定版」配布開始
12月26日	深北緑地レストハウス展示④展示替え
1月8日	動画2のシナリオ検討開始
1月20日	大阪産業大学松本裕先生研究室訪問・説明板、リーフレット作成の打ち合わせ
2月1日	深北緑地レストハウス展示⑤展示替え 西部図書館展示開始（2/28まで）
2月24日	説明板最終校正、リーフレット内容とデザイン最終校正
3月1日	深北緑地レストハウス展示⑥展示替え
3月22日	樋門説明板設置作業
3月29日	リーフレット発注

2. 事業の報告

計画した事業

- (A) ガイド資料作成と展示
- (B) 平野屋新田会所跡周辺遺産の説明板設置
- (C) 事業に関する報告書の提出および成果報告会での発表

計画時の期待する効果

- 1 市史跡「平野屋新田会所千石蔵跡・道具蔵跡・船着場跡」と周辺遺産の歴史的価値と魅力を市内外に広げ認知度を高める。
- 2 新田開発によってつくられた井路（水路）と現在の水路や河川とのつながりに興味を抱いてもらえる。
- 3 説明板の設置によって魅力の発信と市民の関心を高めることができる。

結果

(A) ① リーフレットの作成 (A6, 6面 2500部発行)

市史跡「平野屋新田会所千石蔵跡・道具蔵跡・船着場跡」に特化したリーフレット(A4版両面印刷三つ折りパンフレット)を作成しました。史跡指定された市の史跡の正式な初めての宣伝物となるので、大東市の顔としてのデザインや内容にするため、大阪産業大学デザイン工学部松本裕先生研究室の協力を仰ぎ注意深く作成しました。完成は年度末になりましたが、市内外の人々の関心に応えられると確信しています。

②「大坂四会所巡り・大東市の見どころ」チラシ作成 (A4, 2面 2500部)

大阪府内の四会所が長年続けている「交流事業」に、平野屋新田会所として積極的に参画し、大東市の史跡を知ってもらうために「大東市の見どころ」を載せた「四会所集印巡り」のチラシをつくり、各会所でも配布してもらいました。サポーター会議のホームページのQRコードも付け大東市と大東市の魅力につながり易くしました。

③ 展示（深北緑地レストハウス・西部図書館）

市史跡「平野屋新田会所千石蔵跡・道具蔵跡・船着場跡」の紹介と周辺の大東市の見どころを紹介する展示を実施しました。

今回の展示は、これまでの深野池の新田開発と平野屋新田会所を紹介するものから、深野池をキーワードにした“大東市の魅力”の発信を目指しました。

① まず、深野池をキーワードにした新しい展示場所として深北緑地レストハウスでの通年展示が実現しました。初めての北部地域での、しかも深北緑地を管理する「深北緑地パートナーズ」様の厚意により通年展示となりになりました。深野池をキーワードにした“大東市の魅力”の発信として、「大東市観光ボランティアガイドやまびこ」さんと「大東三好長慶会」さんと協力して2ヶ月に1回ほどの展示替えを行い内容に変化をもたせました。

コロナウイルス感染症対策で屋内での展示や集会ができにくい中でも、緑地公園にはウォーキングや散歩の市民が訪れ展示をよく目にしてくださいました。

② 西部図書館での展示も深野池をキーワードにした“大東市の魅力”の発信を意図したもので、「やまびこ」さんとの共同展示にしました。図書館長さんが、「図書館に来た方がよく立ち止まって見ていました。」と報告してくれました。読売新聞も報道してくれたこともありこれまで以上の関心が得られました。

④ ホームページの作成とQRコードでの発信

ソーシャルメディアを使った発信ができていませんでしたので、今回初めてホームページを作成しました。また、チラシや樋門説明板、展示パネルにQRコードを載せました。

(B) 樋門説明板の設置（6カ所）

今回は、平野屋新田会所周辺に残されている石造樋門のうち6カ所に説明板を設置しました。約縦60cm、横85cm程の大きさで、アルミ板を下地してフィルム加工したものです。

年度末の完成・設置になりましたが、設置作業中にも道行く方が足を止めて質問してくれるなど関心を示して頂きました。樋門の存在とその説明が書かれた案内板が現地にあることの強みと大切さを実感しました。

(A) で作成した「リーフレット」と一昨年作成し今年度改定した「案内マップ」、「説明板」と合わせた三点セットをこれからの講演会やガイ

ド活動などで有効活用できると確信しています。

(C) ソーシャルメディアの利用 (ホームページ)

最後に、今年は、コロナウイルス感染症対策で見学会や講演会などの人が集まる行事や会そのものの会議や相談活動がやりづらく、活動の幅を広げられませんでした。しかし、提案公募型委託事業ではありませんでしたが、サポーター会議の事務局・教育委員会生涯学習課の提案と主導で進められた宣伝動画作成と案内マップの改定に協力し宣伝資料を作成できました。また、これまでの、チラシや展示物による発信からホームページやユーチューブ、QRコードでの発信により、事業の報告をも兼ねた情報発信活動に取り組むことができたことは、一つの成果でした。

取組みの資料や写真

1. リーフレット (A4 版両面印刷三つ折り)



2. 「大坂四会所巡り」・「大東市の見どころ」チラシ



3. 展示① 深北緑地レストハウス



第1回展示



第2回転示



第3回転示



第4回転示



第5回転示



第6回転示

3回目展示のポスター

展示内容

- 第1回展示 6月10日～7月17日
深野池にできた新田と平野屋新田会所
- 第2回展示 7月18日～8月30日
大東市史跡指定紹介展示
平野屋新田会所千石蔵跡・道具蔵跡・船着場跡
- 第3回展示 9月1日～11月4日
絵図や地図に見る深野池・深北緑地の移りかわり
- 第4回展示 11月4日～12月26日
大阪城と大東市を結ぶ「石の嫁ぎ先」
- 第5回展示 12月26日～2月28日
あなたと歩く大東の魅力
- 第6回展示 3月1日～(展示中)
三好長慶公覇権への道



4. 展示（西部図書館）



写真上：西部図書館展示



5. 樋門説明板と設置場所



満島用水樋 南新田1丁目
弘化二巳年 (1845)



落合橋下伏越樋 東大阪市元町
安政三年 (1856)



6. 参考資料（動画・QRコードとホームページ・QRコード）

① サポーター会議ホームページ（トップページ画面）

提案公募型委託事業のプレゼンテーションで、コロナウイルス感染症対策で「見学会や講演会」などができない可能性が大きいので、ホームページやYouTubeなどでの情報発信活動へチャレンジしたいと述べました。そこで、まずホームページやYouTubeのURLやQRコードを「ガイド資料」に付けることにチャレンジしました。



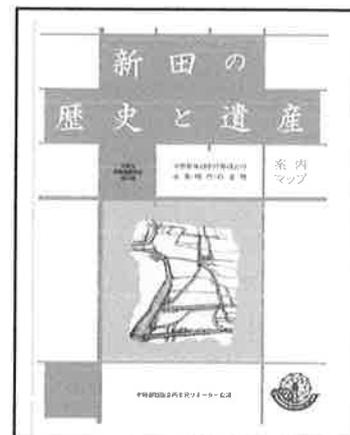
<https://kaisyo-isan.chowder.jp/>
サポーター会議ホームページ
（トップページ画面）

② 動画作成

提案公募型委託事業ではありませんが、事務局と協力して動画を作成し教育委員会の公式YouTubeチャンネルに2作品をアップしました。URLとQRコードをチラシや展示パネルに付け紹介しました。



知りたい 伝えたい 残したい
平野屋新田会所市民サポーター会議 かつどう報告
「深野池新田開発関連文化財群」 その2



大東市ホームページ
新田遺産と案内マップ